

## 令和7年度第1回ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 令和7年11月18日 14:00~16:00

2 開催場所 三重県勤労者福祉会館 4階 第3教室

3 出席者数 出席13名 欠席2名

4 内容<事項>

(1)会長・副会長の選出 について

(2)「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2023-2026)」  
の実績及び取組について

(3)その他

5 概要

(1)会長・副会長の選出 について

委員間での立候補・推薦等がなかったため、事務局から中北委員を会長に、松井委員を副会長に推薦。委員からの異議なし。

(2)「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2023-2026)」の実績及び取組について

【委員意見】

・ユニバーサルデザイン学校出前授業が公立学校だけでなく、私立学校でも実施されているか。また、裾野を広げる意味では新規実施の学校数を把握することが重要。

⇒ 公立・私立の両方の学校に対応しており、小・中・高校等で実施しています。

新規実施の学校数については、確認します。

(確認結果)令和6年度実績(県実施分)の33校のうち8校が初めて申請された学校でした。

・ヘルプマークに関する普及活動の実績についてどのような活動が挙げられているか。

⇒ ユニバーサルデザイン学校出前授業や研修、SNS 等で行った啓発活動の実績を計上しています。

・イベント等でのユニバーサルデザインの啓発実績とあるが、イベントの規模はどれぐらいか。

⇒ 具体的な人数規模は即答できかねますが、地域のお祭りをイメージしていただければと思います。

(確認結果)地域のイベントに出店して啓発活動を行っているため、イベントの規模は1,000人規模から6,000人規模まで様々でした。

・実績の中に事務用品等の単価契約において、ユニバーサルデザイン配慮製品を選定したとあるが、どんな製品を選定したのか。

⇒ 出納局に確認します。

(確認結果)片手で開閉できるファイル、左右両用設計のカッターナイフ、軽い力で止められるホッチキスの3製品になります。

・鉄道のバリアフリー化に関する補助について、市町の補助金がないと県からの補助が受けられないと聞いたが。

⇒ お見込みのとおり、市町の補助額を上限に県の方で補助を行っています。

・おもいやり駐車場で駐車区画の前にカラーコーンが置いてあり、どかさないと止められない施設がある。

⇒ (確認結果)おもいやり駐車場の区画登録事業者用の手引きの中で、駐車邪魔にならないようにコーンを設置するよう周知しています。

・今年度の取組計画の中に選挙の投票についての取組があるが、今年の参議院選挙の投票の際に候補者数が多いため、投票所の候補者が書かれた紙の文字が小さく見えづらかった。

⇒ 市町行財政課に伝えます。

(確認結果)ご意見いただきました件について以下のとおり対応しております。

○投票所内に、1.2メートル×0.9メートルに拡大した紙を掲示しています。

・ユニバーサルデザインの啓発の中で、学校への啓発以外に自治会や企業向けの啓発はあるか。

⇒ 自治会や企業に向けての取組として、集会などに県職員が出向いてユニバーサルデザインについての説明をする「みえ出前トーク」を行っています。

・地域の団体や事業者との連携強化について

⇒ 地域団体や事業者と連携する重要性を認識しており、出前講座や啓発活動を通じて協力を促進しています。

(3)その他

「第6次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2027-2030)」  
の策定に向けて

第6次計画の策定に向けたスケジュールと進め方について事務局から説明

【委員意見】

・バリアフリー基本構想の策定状況について、全国の策定済み自治体は全体の約20%となっているが、三重県の進捗状況はどうか。

⇒現在、三重県内の市町の策定状況は全国的に見ても芳しくない状況であると認識しており、課題と考えております。

・第6次の計画策定にあたり外部のコンサル委託は行うか。

また、どれだけ浸透しているのか調査する機会や住民のワークショップを行う予定があるか。

⇒計画の策定については、コンサル委託の予定はなく、県直営で策定を進める予定です。調査についても、各市町や関係団体の声を聞きながら進めていく予定です。計画策定にあたっては、パブリックコメントの実施も予定しています。

(以上)